

令和7年度

第2回 那須町総合教育会議 会議録

那須町教育委員会

令和7年度 第2回那須町総合教育会議録

令和7年11月11日15時30分から、令和7年度第2回那須町総合教育会議が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議の出席者は次のとおりであります。

町長部局

町長	平山 幸宏
総務課長	池沢 秀勝
財政課長	齋藤 憲彦

教育委員会

教育長	平久井好一
教育委員	菊地 厚子
教育委員	菊地 昭一
教育委員	金田裕美子
教育委員	大島 一行
学校教育課長	島村 育男
生涯学習課長	人見 英樹
こども未来課長	赤羽根泰啓
学校教育課長補佐	藤田 健一
生涯学習課長補佐	杉浦 靖典

1 本会議の議事は次のとおりであります。

協議事項

(1) 中学校の部活動の地域移行について

(2) その他

1 開 会

島村学校教育課長

定刻となりましたので、ただ今より令和7年度第2回那須町総合教育会議を開催いたします。進行を務めさせていただきます学校教育課の島村と申します。どうぞよろしく願いたします。

はじめに、平山町長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ（平山町長）

教育委員の皆様には日頃から、本町の教育行政の推進にご尽力を賜り感謝申し上げます。

本日はお忙しい中、第2回総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しており、学習指導や生活指導の在り方、さらには地域との連携など、教育行政に求められる役割はますます多様化しております。こうした中で、町と教育委員が一体となって課題を共有し、将来を見据えた方向性を協議していくことは、大変意義深いものと考えております。

本日の議題であります「中学校の部活動の地域移行」は、教育現場における大きな転換点となる重要なテーマです。これまで部活動は、学校教育の一環として教職員の熱意と努力に支えられてきましたが、少子化や教員の働き方改革の観点からも、持続可能な仕組みづくりが求められています。

地域移行を進めるにあたっては、生徒が安心して活動できる環境を確保するとともに、地域のスポーツ団体や文化団体との連携、指導者の確保、活動場所の調整など、課題が山積しております。町としましても教育委員会や学校、地域団体と連携しながら、子どもたちの成長と地域の活性化につながるよう、地域総ぐるみで支える体制を構築していきたいと考えております。

本日の会議では、現状の課題や今後の方向性について率直な意見交換をお願い申し上げます。皆さまのお知恵とご協力をいただきながら、より良い地域部活動の在り方を共に考えてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いたします。

島村学校教育課長

それでは、協議事項に移らせていただきます。

那須町総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長を議長として進めさせていただきます。

3 会議録の承認

議長：平山町長

それでは、本会議を主宰する立場から議長を務めさせていただきます。

円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

はじめに、会議録の承認について学校教育課長より説明をお願いします。

島村学校教育課長

総合教育会議の会議録は、那須町総合教育会議設置要綱第7条において、公表することになっております。

今年度第1回の総合教育会議の会議録について説明させていただき、公表について承認をいただきたくお願いいたします。

会議録に沿って説明

議長：平山町長

ありがとうございました。

それでは、会議録について、ご意見やご質問などがございましたら、お願いいたします。

全出席者

ありません。

議長：平山町長

ご確認をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、会議録について承認をいただけますか。

全出席者

承認

議長：平山町長

ありがとうございました。

4 協議事項

それでは、(1)中学校の部活動の地域移行について、意見交換をさせていただきます。

事務局から部活動地域移行に関する現状および今後の見通しについて、説明を求めます。

～生涯学習課説明～

議長：平山町長

それでは、ご意見、ご感想などがございましたら、お願いいたします。

今までの固定観念があり、国がどう考えているのか分かりにくいところもありますが、那須町の中学生が活躍でき、のびのびと活動できるような方法を考えていかなければならない

という思いを持っておりますので、いつものようにどんな意見でも結構でございますので、よろしく申し上げます。

菊地(昭)委員

時給 1,300 円と書いてありますが、学校の先生には報酬がなく、今まで正義感のある先生方によって支えられてきたんだなという感じがします。スポーツ振興くじの助成金の条件は提出する書類が多いようですが、受けられるのですか。

指導者の確保ですが、自分から手を挙げる人は少ないと思いますので、いい人材がいたら頭を下げてでもお願いした方が良いと思います。那須町には、隠れた人材が結構いると思うので、そういう人たちを探す労力も必要かなと思います。指導者が勝つためではなく、子どもたちの未来や体を思って指導してくれる人であって欲しいです。良い指導者や先生と子どもたちが出会えば、良い未来が約束できると思います。

杉浦生涯学習課長補佐

条件に沿って、役員のメンバー、規約作り、予算を立てたり、組織に必要なもろもろを作って申請すれば、助成を受けられるものとなっております。指導者の報酬は、運営費や保護者の負担を少しでも抑制できるように、チームの事情によって設定できるような、仕組みを考えていければと思っております。

議長：平山町長

平日と土日で指導者が異なる場合、練習試合など引継ぎをしないと難しいのかなと思われまます。その場合、土日に指導している方たちが、平日にも参加する状況になり得るのではないかとと思われまます、どのように考えていますか。

杉浦生涯学習課長補佐

そういった状況になり得る可能性は十分にあります。平日と休日の指導者が別の方になる場合が想定されますので、その連携が課題となると思います。指導者が平日と休日で違うというのは、保護者も一番心配しているところだと思います。先生が兼職兼業の許可を得て、平日も休日も指導する人が同じというのを基本の形としたいと考えております。

議長：平山町長

先生が両方指導してくれるのが理想かなとは思いますが、保護者が平日も指導する場合は報酬は発生するのですか。

杉浦生涯学習課長補佐

報酬が発生するには、総合型地域スポーツクラブの中に指導者として登録する必要があります。ただ、指導する範囲は休日ということでスタートしたいと思っておりますので、平日については、保護者の方でサポートに入りたいということであれば、ボランティアとして無

償で部活動を支えていただくということになります。

平久井教育長

補足になりますが、現在の計画では、平日は教員、土日は地域指導者となっておりますが、教員が兼職兼業の許可を得て土日の指導をしても、対策実行期間中（2026～2030年を指し、部活動地域展開を本格的に実施する期間）に先生方が異動しますので、徐々に地域指導者へと変わっていく時期がくると思います。那須町は、平日も地域展開を目指しております。行く行くは、国の方でも、出来る方が平日も指導に当たれるような仕組みになっていくのかなと思っております。

菊地（厚）委員

地域クラブでは、中学生だけでなく、地域の方や高校生などが参加する可能性もありますか。

杉浦生涯学習課長補佐

種目によっては、多世代での活動ができるという可能性はあります。

菊地（厚）委員

以前、和い輪い学習フォーラムに参加した時に、高校生たちが地域とのつながりを持てる活動や地域に対して何ができるだろうかと真剣に考えておりました。例えば、先輩の高校生が中学生と一緒に活動しながら教えていくということも、地域のつながりの中で出来たら良いなということを感じました。

スポーツだけでなく文化部も入ってくると思いますが、子ども側のニーズとして、楽しみたくてやるのか、勝ちに行くのか同じ種目でも分かれてくると思っています。子どもたちが自由に選べるようになったら、最高の活動ができると思います。今までの部活動は、大会に参加して勝つことが目標でしたので、勝つだけではなく、違う目的意識を持つことができ、夢のある部活動になっていくのではと期待しております。

平久井教育長

高校生の関わりという点では、そもそもこの総合型地域スポーツクラブというのは、多世代の人たちが同じスポーツを楽しむというクラブです。そこに高校生が入って、指導的な立場でやったり、一緒に楽しんだりするのは、とても良いことだと思います。地域展開することによって、茶道、華道、ラジオクラブ、雅楽など指導者や子どもたちがやってみたいことが可能になってきます。今までの部活動のように、毎日練習するとかは求めておりませんので、例えば、週1回とか月に1回とかもありだと思います。那須町は多様なニーズに応えられるような地域展開にしたいというところが、大きな特徴だと思っております。

菊地（昭）委員

一年中スポーツの祭典、文化祭のように楽しくできたら良いかなと思います。高校生が指導者になるのは、どうなのですか。

人見生涯学習課長

基本的には未成年ですので、やはり責任が伴いますので、補助というレベルなら検討の余地はありますが、指導者としては責任が重いと思います。知見と知識と経験があれば排除するものではないですが、なかなかハードルは高いのかなと考えます。既存の団体としてスポーツ協会というのがあります。大人の団体ですが、種目によって、子どもたちも含めて活動している部分があります。将来的には、既存のスポーツ協会とどのようにしていくのか、今後状況を見ながら検討していく必要があると思いますが、現在は多世代を含めてと言っても、上の世代はスポーツ協会の方にとというのが主になるのかなと思います。

議長：平山町長

選択が広がってくると、平日はスポーツをやって、土日はスポーツ以外、同じスポーツでも別なものをやりたいとか、地域の方、高校生、小学生と混ざってやれるスポーツとか、そうすると夢も広がってくるのかなと思います。中学生のニーズでどんなものに興味を持っているのか調査するのですか。

杉浦生涯学習課長補佐

準備が整い次第アンケートは取りたいと思います。

金田委員

将来的には多世代でスポーツができれば良いという那須町モデルを作りたいという目標がある中で、部活動地域移行をどうするかということであるなら、子どもたちが自らどういう目標を持ってスポーツに取り組みたいのか選択できる場を設定した方が良いと思います。例えば、全国レベルで頑張りたい子には、選手コース、楽しみたい子には楽しみコース、中間コースなど、値段設定もそれぞれ別々に行って、選手コースなら親も一生懸命なので、元プロ選手を指導者として呼び出すことを含めた価格設定をしても投資をしたいと思います。矢板の方のクラブチームに通わせる親も、那須町でできるようになったら、タイパもコスパも良いので、そういう値段設定もありだと思います。楽しみたい子に関しては、地域の方のご経験のもと、ボランティアでも良いという方たちにお願ひすれば、年間費を抑えられるのかなと思いました。あとは、大学と町の連携で、夏休みや冬休みに、大学生たちは成人した方もおりますので、その方たちがサマースクールとかウィンタースクールという形で、講師として参加してもらい、子どもたちがそれを見て主体的に学び、サポート的に保護者の方についてもらうというのも一つの案かなと思います。実際に他の自治体での例もあり、好評だと聞いております。

以前、矢板セントラルスポーツクラブの方と話をさせていただいた時に、喜んで協力しますということでしたので、成功例を聞きながら案を練っていくのも良いかなと思いました。

菊地（厚）委員

移行の対象となる部活動は、どのようなのですか。

杉浦生涯学習課長補佐

中学校で行われている全ての部活動が対象となります。

金田委員

総合型地域スポーツクラブという名称だと文化系がイメージしづらく、入口が狭まっているような気がします。間口をもっと広げたら、指導者の方の登録にもハードルが低くなるのではないかなと思います。

平久井教育長

総合型地域スポーツクラブというのは総称なので、文化部も含まれるような那須町独自の名称を検討したいと思います。

指導者による指示命令ではなく、子どもたちが、チームの目標や活動計画を話し合い、大人がそれに寄り添い、子どもたちの思いが活動に活かせるようなクラブを作りたいと考えております。

人見生涯学習課長

スポーツ庁が絡んでいるため、総合型地域スポーツクラブが使われますが、最終的にはスポーツだけではないよというような名称にするつもりで考えておりますが、今はまだ仮称だと、ご理解いただきたいと思います。

クラブに所属する各チームは独立性があるため、できるだけ子どもたちの考え方中心で、お願いはしますが、チームに委ねる部分も出てきますので、運営の全てを町が管理することは難しいのが現状です。

菊地（厚）委員

平日の部活動に入っていない子も、土日だけ参加するのは可能ですか。

杉浦生涯学習課長補佐

可能です。

人見生涯学習課長

現在部活動に参加していない子や入っている部活動以外の希望があり、それに沿うようなクラブができれば、多様な経験をしていただくということで、複数入ることもできます。

議長：平山町長

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

いただきましたご意見等については、今後の部活動の地域展開に向けて参考とさせていただきます。

それでは、次の協議とさせていただきます。

議長：平山町長

次に（２）その他について、各課より何かありましたら、説明をお願いします。

（学校教育課長・生涯学習課長・こども未来課長）

全課長

ありません。

議長：平山町長

無いようですので、以上で、議題に関する協議は終了いたします。

貴重なお時間をいただき、充実した会議となりましたことに、お礼を申し上げます。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

それでは議長の任を解かせていただきます。

5 その他

島村学校教育課長

それでは、その他に移りますが、皆様から何かございますか。

無ければ、これをもちまして協議事項はすべて終了させていただきます。

6 閉会

島村学校教育課長

閉会にあたり、教育委員を代表して平久井教育長よりご挨拶をいただきます。

平久井教育長

部活動地域移行について、いろいろご議論をしていただき、ありがとうございました。

どの自治体もこの部活動地域展開については、頭を悩ませているところでございます。那須町では、受け皿がない状況だからこそ、従来の競技スポーツ中心の部活動を大きく変えて、子どもたちのニーズに合わせた、放課後、休日の豊かな体験活動の場の提供という新たな価値の創造を目指したいと考えております。

今後 15 年後には子どもの数が大幅に減少する見通しですが、そうした状況でも子どもた

ちに豊かな体験活動を保障できる組織を構築したいと思っております。これから組織をつくっていくわけですが、保護者負担の問題、移動手段の問題、指導者確保の問題、保険をどうするかなど課題山積です。

長年部活動が無報酬で支えてきた先生方に改めて感謝します。それが当たり前になっており、今後進めて行く上で課題になると思います。いろいろ課題はありますが、子どもたちにとって、豊かな体験の場となる地域クラブを完成させたいと思います。

本日はいろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。

島村学校教育課長

以上で令和7年度第2回那須町総合教育会議を閉会といたします。

本日はありがとうございました。